

めあてをもって成長できる二学期に！

3人の代表の子どもたちが、2学期の決意を発表してくれました。

「発言を人任せにしない。・・・」「走ることが苦手だけど運動会で1位を取りたい。・・・」「本を一杯読む。」「もっと仲良くしていきたい。」「中学に向けて頑張りたい。・・・」「運動会でリレー選手になって1位になりたい。」など3人共に2学期の目標を堂々とみんなの前で話してくれました。ぜひ達成できるように学校生活を送ってほしいと思います。



<二学期始業式校長講話より 抜粋> 今日のお話は、三つあります。

一つ目は、夏休み中の長門小学校の様子

二つ目は、地元を愛そう 長久保宿探検

三つ目は、めあてをもった 二学期にしようです。

夏休みは、28日間ありました。校長先生がうれしかったのは、みんなが夏休み中大きなけがや病気、事故にあわないで学校に来られたこと。それがうれしいことです。夏休み中は、各地区でラジオ体操があったり、学校では、プール開放があったりしました。プール開放では、初日68名の子どもたちが参加してくれ大賑わいでした。また先生方は、三日間開催された菅平夏季大学や南部支会の地域研修で長門牧場に行って勉強をしてきました。先生は、8月3日に長和町のことを少しでも知ろうと、半日長和の里歴史館の勝見譲さんの案内で長久保宿の地域探検に行ってきました。みなさんは、小3・小6で長久保宿のことについて学習をしますね。長久保宿は、宿場町としては、めずらしくL字型をしています。・・・最後に守り神でもある松尾神社は、京都の松尾神社から分霊をして建てられています。お酒の守護神として、お祭りにはたくさんのお酒が奉納されています。秋には、例大祭で大山獅子が舞います。説明をしていただいた勝見さんが、最後にみなさんへのメッセージとして、「子どもたちのみなさんは、大山獅子などで参加してもらっていますが、地元の良さを知って受け継いでいってほしいです。和田の宿場町も昔の人がやっていたことに参加して受け継いでほしいです。」と言っていました。

さて、みなさんは、覚えているでしょうか。1学期の終業式の時、各クラス目標を

発表してもらい、1学期にできたところ、これから達成できるようにがんばらなければならないところを発表してもらいました。1年生の方から紹介します。2学期これからみんなが目標達成のためにがんばりたいことを発表しています。2学期のはじめの日に、みなさんひとりひとりその中で大事にしていきたいめあてを考えていきましょう。そして、そのためにどのようにしていったらよいか具体的に考えてみましょう。1年生は、みんなで毎日2周をはしろうと具体的に決めています。これから2学期は、84日の登校です。3学期は、48日です。合計で132日あります。1年生のみんなは、これから走っていくと264周も走ることができます。そして、今日から毎日6周を走るとなんと700周の日本橋を越えます。どこまでできるか挑戦してみるのもいいですね。

2学期は、各クラスで考えたことをやり遂げられるようにがんばりましょう。そして、今日は、ひとりひとりがめあてをしっかりと考えて2学期のスタートを切りましょう。

非違行為防止研修会（わいせつ事案について考える）

夏休み中の職員会議（8月22日（水））では、学校職員による非違行為について、考える研修会を行いました。どのように非違行為を防止していくか、私たち職員の背景を考えながらも法律に触れることは当然やってはいけない！大人としての常識でもあります。職員同士によるグループ討議によって考え合いました。先日（7月）の座光寺小学校の職員の非違行為のニュースにも触れ、信頼を回復するために一人ひとりができることも考え合いました。

＜同僚の立場として＞（職員の意見 抜粋）

- ・当然のことであるが、子どもたちや保護者に最大の迷惑がかかってしまうことを、常に肝に銘じ、日々の勤務を充実していく。
- ・同僚としてもこういう非違行為は許せないししないようにする！
- ・定期的に学級経営などの悩みや工夫などを相談できる場作りが大切。
- ・学年会、連学年会、教務会などで情報を共有して支えていけるかが大事。
- ・ストレスが減るように互いに努めていく。研修をしっかりと実施していく。
- ・特に、連学年、専科、養護教諭など担任以外でクラスに関わる職員は、学級の様子の変化を感じたら、教頭先生や教務主任に相談して担任以外の職員で支えていけるようにする・・・

など多くの意見が出されました。今後も様々な非違行為防止研修を積み重ね、長門小学校では非違行為が0件のまま継続できるよう努めてまいります。



6学年黒耀石祭りに参加

8月25日（日）長和町黒耀石祭りに6年生が参加できました。6年生の子どもたちは、葦木ヒロカさんと思いを入れながら「祈り鶴」という曲を歌って、みなさん感動させてくれました。